

12月10日(火)

感激のハロー

聖書朗読 テサロニケ人への手紙 第一 4:13~18

そして、こう言った。「ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります。」 使徒 1:11

私のパソコンの横には、2歳の小さな男の子の写真が飾ってあります。その男の子はカメラに背を向け、一緒に写っている虹に手を伸ばしています。その写真からは男の子の表情はわかりませんが、生まれて初めての虹を見てとても興奮していたことでしょう。男の子のお母さんはその瞬間をとらえたかったのでしょう。

これは素晴らしいスナップ写真というだけでなく、この写真を見るたび私には男の子の言葉が聞こえてくるのです。虹を見た男の子は大きく息を吸って、虹に向かって言いました。「会えてうれしい!」

私たちの多くにとって、人生の前半のほとんどが、新しい友達、新しい兄弟、新しい先生、結婚相手、我が子、そして最後は孫との出会いの、彼らに会えてうれしい“ハロー”の年です。そして、時が経ち、私たちは今度は“さようなら”を多く言うようになっていくのです。

しかし、私たちはまだ最後の“ハロー”を言っていません。イエス様の復活、昇天、そして再臨のお約束に基づいて、イエス様は私たちのもとに再び現れます。それを待ち望むことは、私たちの信仰であり希望です。信仰が目に見えるものとなった時、私たちは感激して、「ハロー、会えてうれしいです!」と心から言うでしょう。

讚美歌 130 喜べや たたえよや

祈り お父様、イエス様が戻ってくるという望みを私たちに与えてくださり感謝いたします。これ以外の、これ以上の希望はありません。あなた様と共に歩む人生を喜んで歩みたいと思います。イエス様のお名前によって。アーメン。

共編者 エミリー Y・レムリー

12月11日(水)

考えてみてください

聖書朗読 エペソ人への手紙 6:1~11

人にではなく、主に仕えるように、善意をもって仕えなさい。良いことを行えば、奴隷であっても自由人であっても、それぞれその報いを主から受けることをあなたがたは知っています。 エペソ 6:7~8

誰もが誰かに仕えています。今日、あなたはどのような人に会い、仕え、そして助けるでしょうか。パウロは仕事場での上下関係などについての話をしているではありません。今日私たちが会う人に対するあなたの心の在り方について話しているのです。今日会う人に、彼らにお仕えるという気持ちで接することができるでしょうか。

あなたがキリストと向き合うのと同じように、たとえ好きではない相手であっても、相手と真摯に向き合うことが大事です。これはなかなか大変なことです。これはどういうことかという、 “こんにちは” や “さようなら” という挨拶をすること以上のことをしましょうということです。また “またね” もしくは “良い一日を” という言葉をかけること以上のことをしましょうということです。

つまり、私たちが今日会う方々に、彼らがキリストであるかのように接するということです。今日お会いする方を良く見て、彼らにお仕えるにはどうしたらよいか、彼らを取り巻く環境について知り接していくということです。そして、その方に出会えたことに、お父様である神に感謝しましょう。あなたは、「ごめんなさい。私には神が仰るようにその方に仕えることはできません」と言いますか。それとも「神様、わたしがその方にお仕えることができるように強めてくださることに感謝します」と言いますか。キリストが私たちを愛おしく見たように、私たちが今日出会う人々に愛を持って接していきましょう。

讚美歌 II 148 父なる神のさずけまし

祈り お父様、あなた様は私を見て、そして愛してくださいます。周りにいる人を見て、そして愛を持って接している間、あなた様の平安を私にお与えください。イエス様のお名前によって。アーメン。

共編者 スティーブン S・レムリー

12月12日(木)

神とは

聖書朗読 創世記 6:13~22

見てごらんさい。神のいつくしみときびしさを。

ローマ 11:22

ノアと洪水に関する聖書の記録は、ノアについてではありません。神についてです。神がお話になり、ノアがそれを聞きました。ノアは何も言いませんでした。神が命じ、ノアがそれに従ったのです。

今日の聖句では、神は聖なるお方であり、悪を許すことができないお方であると言っています。同時に、主はあわれみ深く、情け深い神、怒るのにおそく、恵みに富むお方であると言っています。神はノアと彼の家族を破壊から救い、そして神に従わないものに対して裁きを与えました。『わずか八人の人々が、この箱舟の中で、水を通して救われたのです。そのことは、今あなたがたを救うバプテスマをあらかじめ示した型なのです。』（ペテロ I 3:20~21a）

罪を告白して悔い改め、洗礼を受けたとき、私たちの罪は洗い流され、私たちは水と聖霊によって生まれ変わります。イエス様はノアと洪水を最後の裁きになぞられました。(マタイ 24:36~39) イエス様はおっしゃいました。『だから、あなたがたも用心していなさい。なぜなら、人の子は、思いがけない時に来るのですから。』（マタイ 24:44）そして神を信じる者たちに言うでしょう。『さあ、わたしの父に祝福された人たち。世の初めから、あなたがたのために備えられた御国を継ぎなさい。』（マタイ 25:34b）

神の尽きることのない愛に感謝しましょう。

讃美歌 529 ああうれし わがみも

祈り 聖なる父よ、敬意と尊敬をもってあなた様の前に跪きます。そして私たちを縛っている罪から私たちを解放するために、あなた様のひとり子を捧げてくださるほど私たちを愛してくださることに感謝いたします。イエス様が私たちのために御国に場所を用意してくださっているという、この上ない喜びに感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

オレゴン州 グレシャム / リチャード N・エディ

12月13日(金)

75歳からの再出発

聖書朗読 創世記 12:1~9

地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。

創世記 12:3

現在、私たちが生きている世界と、アブラハムとサラが生きていた世界とでは何たる違いでしょう。現代では、65歳で定年、そして75歳もしくは80歳で老人ホームに入るまでの10年間、老後を楽しみ、85歳もしくは90歳で、お世話する側から介護される側になるでしょう。

一方、アブラハムの人生は大きく異なっていました。アブラハムは75歳で、住み慣れた土地を離れるよう、それは老人ホームではなく、神が示す新しい土地に行くよう命じられました。息子が生まれることも神から伝えられ、100歳で父親になりました。これらすべては、地上の人々すべてに関わる大いなる祝福という神の約束をとおして成し遂げられました。

今でも神は私たちの老後について考えておられ、そして約束してくださっています。私たちがもう少し熱心に神の声を聴くなら、私たちにはまだ素晴らしいことが待っているとおっしゃっている神の声が聞こえるかもしれません。あなたのために立てている計画と約束がまだあると、神は私たちにおっしゃるかもしれません。

信仰によって、アブラハムは、

相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、

これに従い、どこに行くのかを知らないで、出て行きました。

—ヘブル 11:8

讃美歌 270 信仰こそ 旅路を

祈り 主よ、今の私に望んでおられることを見せてください。私の人生がいつ完成するかをお決めになるのは、あなた様であることを忘れないようにさせてください。今日、あなた様の御計画を果たせるよう肉体的な強さ、霊的な自信を私にお与えください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / ジェス ピーターソン

12月14日(土)

人生の荒波を乗り越える

聖書朗読 創世記 41:25~32、37~46

空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。 マタイ 6:26

「愛してる」「ガンです」「彼女はきっと大丈夫」「赤ちゃんは女の子です」「免許証と車検証を見せてください」「道に迷いました」「借金は総額100万円です」「有罪」「昇進おめでとう」「できることは全てやりました」終わりなく押し寄せてくる言葉、浮き沈み、紆余曲折、人生とはこんなものです。

どうしたら乗り越えられるのでしょうか。ある伝道者は言いました。『神を恐れよ。神の命令を守れ。』(訳注:伝 12:13)ヨセフも同感だったようで、こう言っています。『どうして、そのような大きな悪事をして、私は神に罪を犯すことができますでしょうか。』(創 39:9)『私ではありません。神がパロの繁栄を知らせてくださるのです。』(創 41:16)『あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。』(創 50:20)

父親のお気に入りの息子だった時、奴隷に売られた時、ポティファルの家の部屋で主人の妻に言い寄られた時、地下牢に入れられた時、エジプトの宰相になった時、どんな時であろうとも、ヨセフは人生の混乱の只中で支え続けてくださる力、神から離れることはありませんでした。

人生のジェットコースターを降りることはできません。ですから、常にある恵みと真の希望を示して下さる神、不合理に見えることからでも意味をもたらして下さる神を信じて待ちましょう。

讚美歌 90 ここも神のみくになれば

祈り お父様、私たちの命を創り出し、その命をお守りくださっていることに感謝いたします。混沌とした人生に意味と目的を与えてくださり、絶え間ない導きとお守りに感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ウェイコー / カール F・フリン

12月15日(日)

神はそれを良いことのための計らいとなさいました

聖書朗読 創世記 50:15~26

ヨセフは彼らに言った。「恐れることはありません。…あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。 創 50:19~20

「よく朝起き上がることができるなあ」と人に対して思うことはありませんか。どんなにひどい状況にあっても、イエス様という希望を分かち合うことをやめない人っていますよね。恐らく彼らは、神は彼らの状況を用いて、さらなる良いことのための計らいとなさることを知っているの、それができるのでしょう。

ジム・エリオットと妻のエリザベスは宣教師でした。1950年代、彼らはエクアドルのアウカ族の人々に信仰を広めるために働いていた時、様々な困難に直面しました。危険な目に遭うこともあれば、敵意をむき出しにされたこともありましたが、イエス様について一度も聞いたことがない人々のもとへ向かうことを神が望んでおられると信じて、二人は宣教を続けました。しかし、最悪なことに、ジムとその友人は彼らが助けようとしていた人々に殺されてしまいました。

この時エリザベスが悲しみのあまりに宣教を諦めても誰も彼女のことを責めなかったでしょう。しかし、彼女はその場に留まり、エクアドルの人々への宣教を続けました。後に20冊もの本を書き、そして何千人もの人々に神のうちに希望と信仰を伝え続けました。

エリザベスは、彼女の状況を神がお用いになるままに任せ、神との長い関係から培った信仰によって、人々に励ましと希望を与えられました。ヨセフやダニエルやエステル、またはこのエリザベスに起こったような体験を私たちはしていないかもしれませんが、すべての創造物の神が私たちの中におられ、その神にすべてを委ねるのなら、神は私たちを用いて下さいます。今日、私たちはどのようにしてイエス様の希望を伝えることができるでしょうか。

讚美歌 339 君なるイエスよ

祈り 主よ、私の人生をあなた様のゴールのためにお使いください。私の人生を分かち合い、周りの人にあなた様のうちに希望を与えることができる方法を教えてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

アリゾナ州 フェニックス / ジョスリン・ブラウン